

【プロジェクト名】 医薬品物流プラットフォームプロジェクト

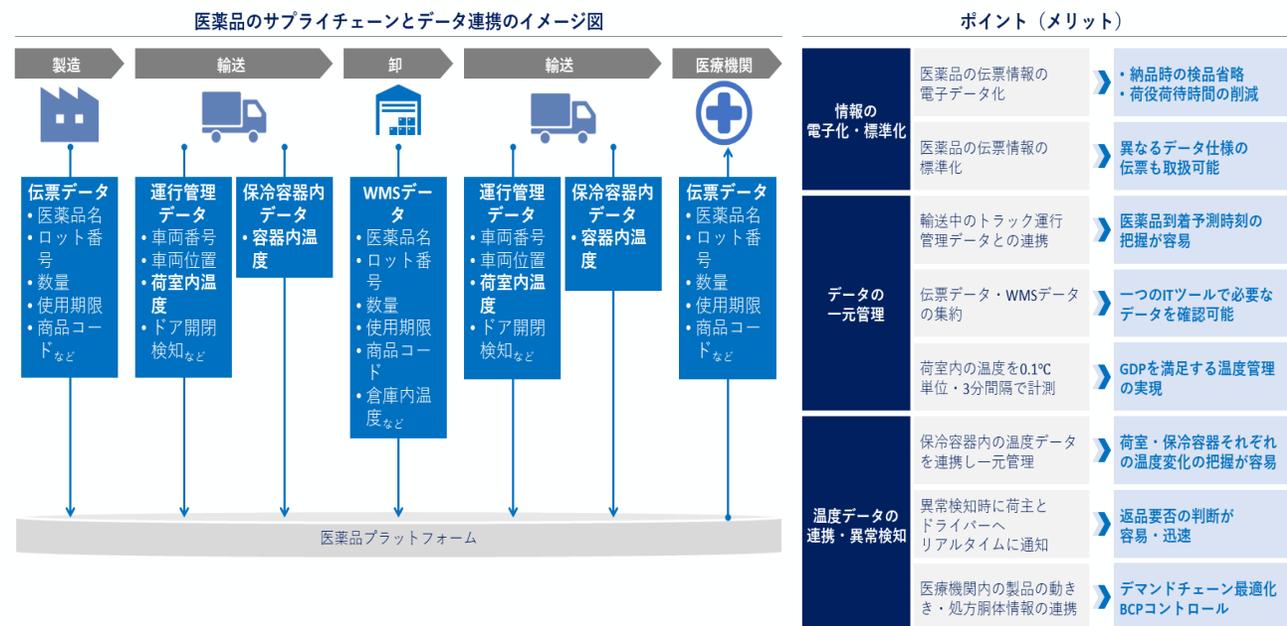
【プロジェクト概要】

医薬品物流プラットフォームを整備し、データ連携により、サプライチェーン全体で品質が担保された医薬品物流や共同輸送を目指すプロジェクト

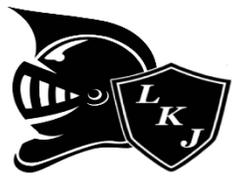
プロジェクト詳細

プロジェクト代表者	早田雅彦 一般社団法人フィジカルインターネット医薬品協議会代表理事、株式会社ロジスティクスナイト・ジャパン代表取締役社長
連絡先・ウェブサイト	masahiko.hayata2022@logiknight.com https://logisticsknight-japan.storeinfo.jp/
プロジェクトの特徴・アピールポイント	医薬物流は、生命関連商品であるが故に、どのような環境下においても安定的に供給されることと同時に、医薬品有の高い品質管理下での取り扱いも併せて求められる。今回提案する物流プラットフォームによるデータ連携の高度化を通じ、物流網全体での品質の担保や、在庫廃棄の削減・在庫偏在の解消など、物流の効率化と医薬品の安定供給に貢献すると同時に、物流情報の集約により、将来的には商材の垣根を超えた連携をも可能にするものと考えている。
選定日・応募内容	2025年2月20日 (応募内容)

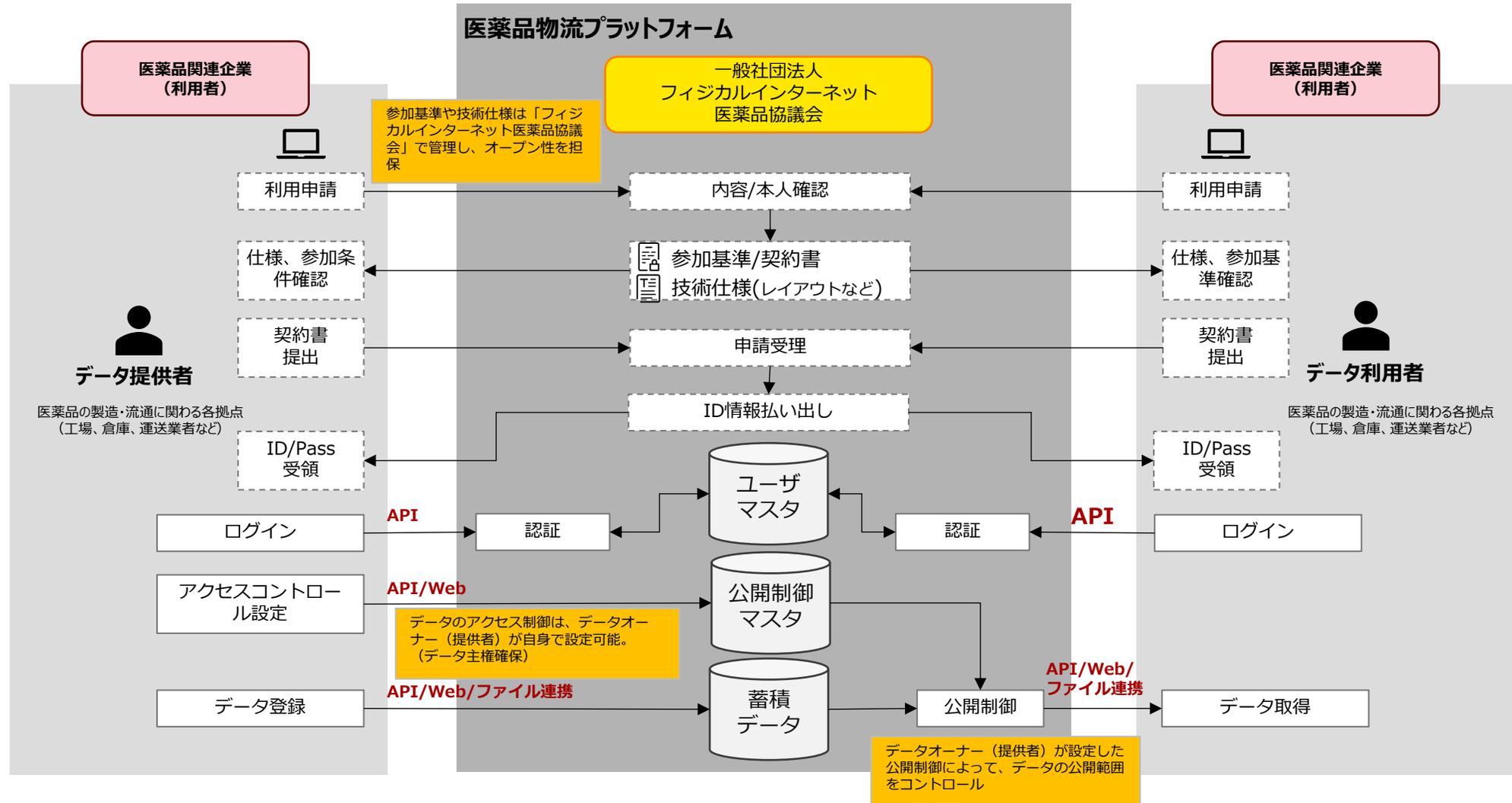
プロジェクト概要図



参考資料1: データ主権、オープン性



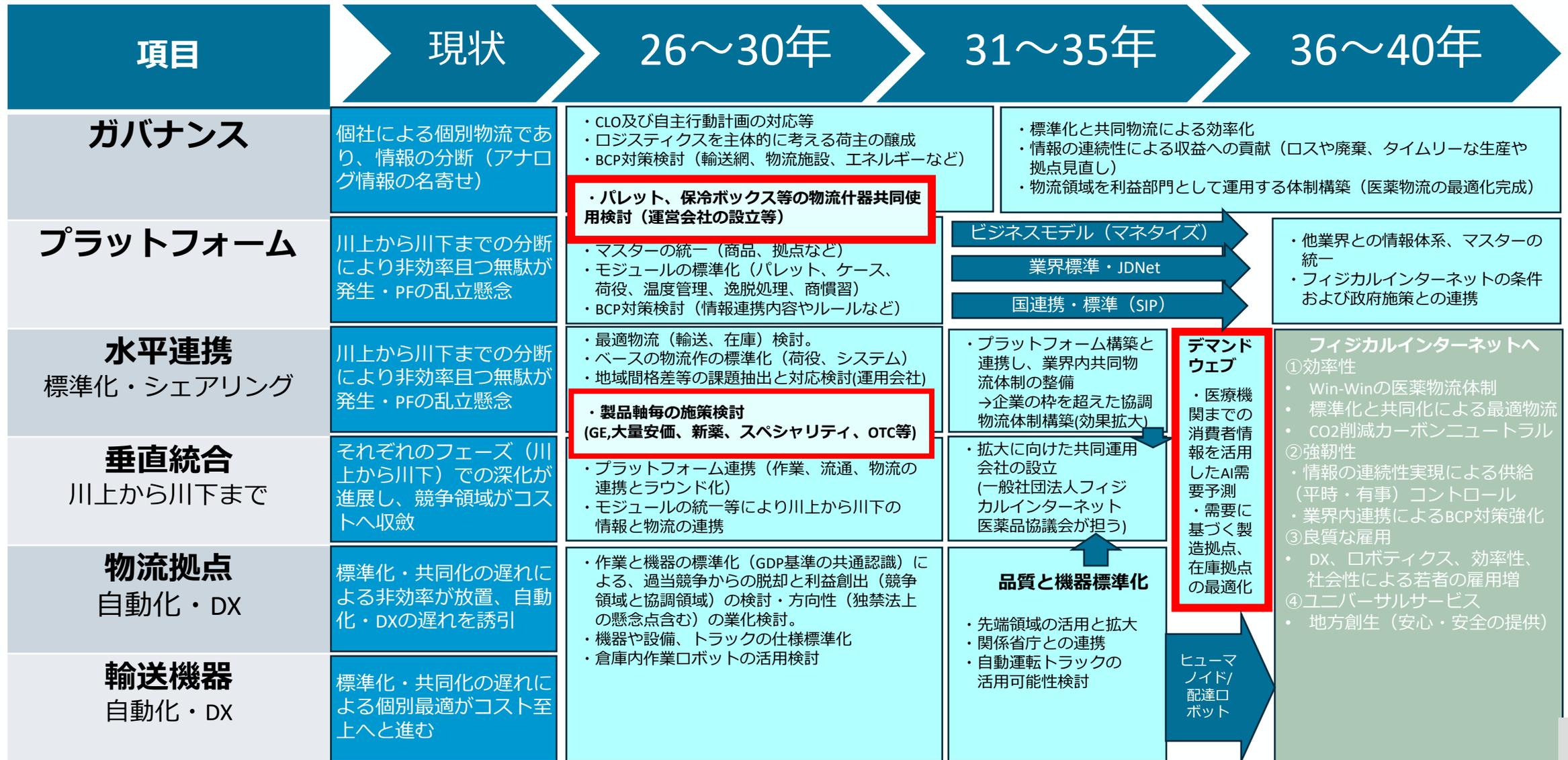
ロジスティクスナイト・ジャパン



参考資料2: 主な活動(中期計画; サマリー)

テーマ/ビジネス	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年 (前倒しを目指す)
フィジカルインターネット医薬品WG ✓ PI実現会議において、課題抽出、施策の検討を実施 (主に①帳票電子化、②PL標準、③PF、④GDP、⑤共同輸送をテーマとして分科会実施) ✓ 国交省イノベ支援の補助金を利用し、GDP対応および共同輸送のPoCを実施	✓ PI実現会議において、施策継続検討。 部分的に実施スタート※1 (①帳票電子化※1、②PL標準、③PF、④GDP、⑤共配) ✓ 各医薬品同業種での実地での共同輸送実証 (メーカー間、卸間) ✓ PF維持管理方法策定	✓ PI実現会議において、GDPの標準化基準公表、段階的実行業界標準PFの要件を整理、構築開始 ✓ 物流情報標準ガイドライン (医薬品版) リリース → プロトタイプ検討	✓ OTC等の医薬品のGDP基準整理、策定 ✓ メーカー領域における医薬品ネットワークサービススタート ✓ GDP認定制度 (医薬品協議会) → 1次サービスリリース	✓ 分野間PFとの連携方針を整理 (NOVAMN、各卸調剤在庫発注システム、JD-NET、MEDICODE、他業界 (医療機器等) 等) ✓ メーカー領域における共同在庫ネットワークサービススタート → 2次サービスリリース	✓ 分野間PFとの連携およびサービス拡張を開始 (データ利活用支援、売買サポート決済等 JD-NET、MEDICODEでの物流EDI開始) → 3次サービスリリース	
各分科会の活動サマリー	A分科会 帳票電子化	納品案内書の電子化 (受払側) 【波及効果: 荷待ち時間削減】 荷札の標準デザイン検討 伝票帳票類の整理・削減・統一化 【PF連携】 物流情報実績把握と共有化/出荷・在庫データ、温度記録の共有 他業界連携での統一項目検討				
	B分科会 PL標準化	パレット標準化検討 レンタルパレットの運用、在庫管理 【波及効果: 荷役時間の削減】 パレット積みの高さ、2段積み規定外箱、バラ詰合せ箱のサイズ標準 【PF連携】 物流情報実績把握と共有化/出荷・在庫データ、温度記録の共有				
	C分科会 データPF	PFの維持・管理・拡張・提供サービス検討 プラットフォーム要件整理、開発機能検討 (商習慣・規制・データ連携・コード体系・標準化) プラットフォーム・開発 (官民連携)				
	D分科会 品質	GDP温度設定の業界標準 GDP認定制度の検討・確立 【PF連携】 物流情報実績把握と共有化/出荷・在庫データ、温度記録の共有 その他関連項目の検討 (清潔度、温度逸脱対応など)				
	E分科会 共同配送	共同輸送条件検討 フィジカルなメーカ領域での共同輸送PoC 共同輸送システム運用				

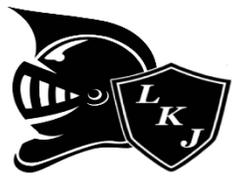
参考資料2: ロードマップ(フィジカルインターネット連携)



参考資料2：一般社団法人フィジカルインターネット医薬品協議会

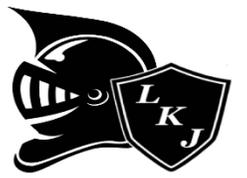
☆医薬品ワーキンググループの位置づけを明確化

- 「一般社団法人フィジカルインターネット医薬品協議会」
- 登記(令和7年8月19日)
- 事業年度:3月1日～翌年2月末日
- 代表理事:早田雅彦

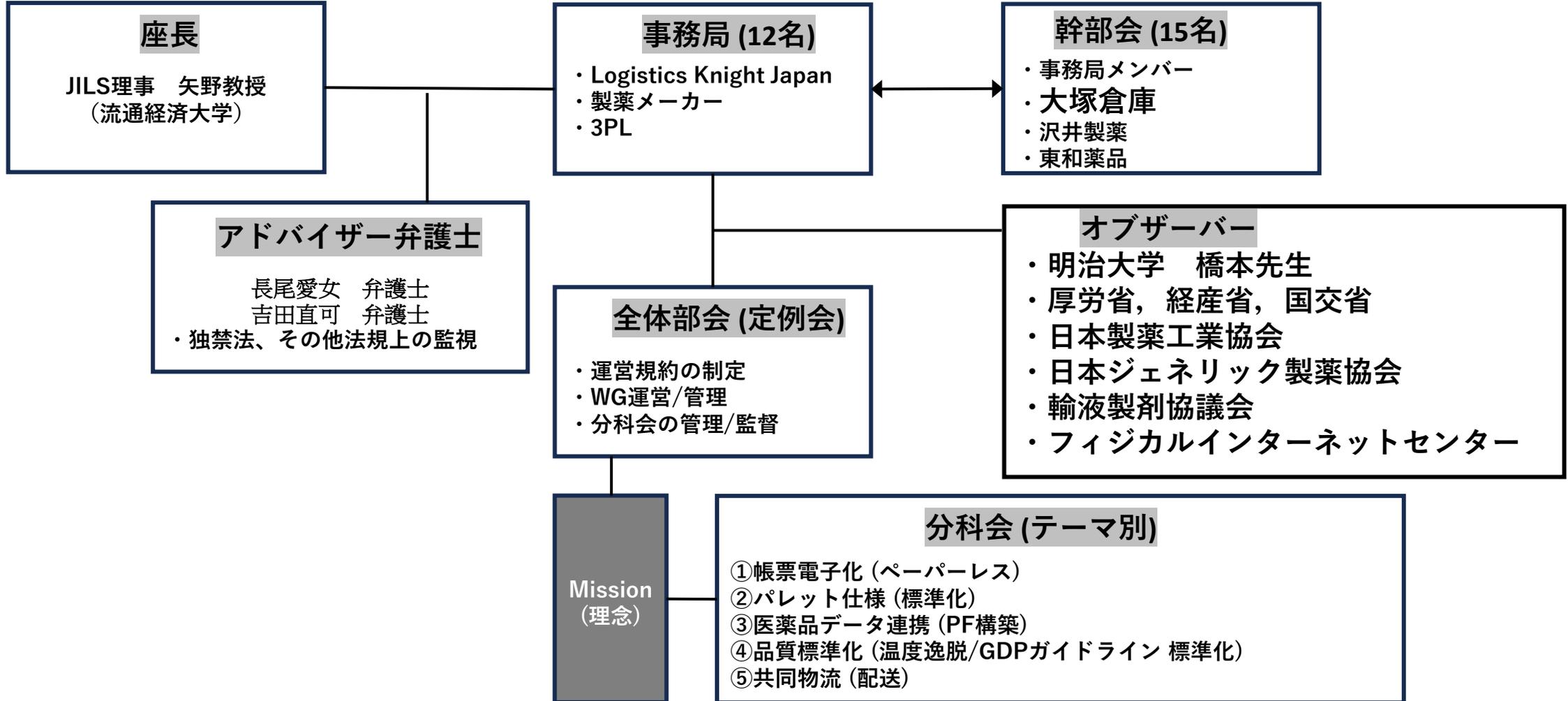


1. **フィジカルインターネット実現へ向けて、医薬品物流業界を最適化する会として、長期の活動を可能とする**
2. **社会実装（パレット共同使用会社、医薬品情報プラットフォーム等）の際の、運営組織の母体となる**
3. **一体感の醸成により、これまでの起きては消える有志（議論で終了）の集まりではない覚悟を示す**
4. **官民の断絶をなくす（両サイドで同じようなことを実施すること）**

参考資料2:フィジカルインターネット医薬品協議会 - 体制図 -



ロジスティクスナイト・ジャパン



※各分科会のGoalはWGミッションを達成するためのものである

参考資料2:フィジカルインターネット医薬品協議会 - 分科会参加企業 -



ロジスティクスナイト・ジャパン

	会社名	メーカー	3 P L	運送会社	卸	その他
1	エーザイ	○				
2	旭運輸			○		
3	塩野義	○				
4	大塚製薬工場	○				
5	沢井製薬	○				
6	旭化成ファーマ	○				
7	富士通					○
8	いすゞ					○
9	安田ロジファーマ		○			
10	ケーエスケー				○	
11	大衡運送			○		
12	日医工	○				
13	北海道物流開発					○
14	エスディコラボ		○			
15	日本新薬	○				
16	アルフレッサ				○	
17	中外	○				
18	第一三共	○				
19	三井倉庫		○			
20	三菱倉庫		○			
21	伊藤忠ロジスティクス		○			
22	富田薬品				○	
23	DPネットワーク			○		
24	T'sファーマ	○				
25	中央運輸			○		

	会社名	メーカー	3 P L	運送会社	卸	その他
26	トーアエイヨー	○				
27	丸総			○		
28	日本ケミファ	○				
29	住友ファーマ	○				
30	協和キリン	○				
31	メディスケット				○	
32	田辺三菱	○				
33	大塚製薬	○				
34	大塚倉庫		○			
35	東和薬品	○				
36	モロオ				○	
37	東邦薬品				○	
38	日本通運		○			
39	TSUNAGUTE					○
40	ロジスティード		○			
41	小野薬品工業株式会社	○				
42	日本パレットレンタル					○
43	三甲					○
44	株式会社スズケン				○	
45	アステラス製薬	○				
46	ユービーアール株式会社					○
47	大鵬薬品工業	○				
48	中北				○	
49	参天	○				
50	テルモ	○				
		22	8	5	8	7

参考資料2:フィジカルインターネット医薬品協議会 - 事業計画 -



ロジスティクスナイト・ジャパン

定 款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人フィジカルインターネット医薬品協議会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を東京都小金井市に置く。

(目的)

第3条 当法人は、医薬品物流業界における効率性の改善及び標準化並びに国が進める取り組みとの強固な連携を目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- 1 帳票電子化の実施
- 2 パレット仕様及び共通化
- 3 医薬品流通データプラットフォームの構築
- 4 品質、温度記録等のシステム、ガイドラインの策定
- 5 医薬品の共同輸配送体制の構築
- 6 上記に関連するコンサルティング業務
- 7 その他当法人の目的を達成するために必要な事業

参考資料2:フィジカルインターネット医薬品協議会 - 25年度事業計画 -



目的

会の総則（目的）に基づき、各分科会活動を通じて、成果を創出する

基本方針

安定供給の確保と物流の効率化・最適化へ向けた協議・活動を実施する
医薬品の製造・流通のボトルネックを解消し、安定した供給体制を維持する。

持続可能な体制構築

環境負荷の低減、資源の効率的活用を通じて持続可能な医薬品供給を目指す。

緊急時対応能力の強化

災害やパンデミックなどの緊急事態における供給体制を強化し、社会的責任を果たす。

多様なステークホルダーとの連携

製薬企業、医療機関、行政機関、患者団体などとの連携を深め、課題解決に向けた協働を推進する。